

領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域): 「情報メディア発展のもとでの新しい地域研究」
- ◆研究テーマ: 「エネルギー政策・言説の日独地域比較」

研究期間: H26.10~H29.9
委託費総額: 11,163千円

<研究代表者>

タック川崎レズリー: 筑波大学人文社会系/准教授



<専門分野>

政治コミュニケーション、ニューメディア、
Webサイト内容分析

<Webページ>

<http://japan.tsukuba.ac.jp/people/faculty/000197.html>

<研究目的・概要>

・原発を含むエネルギー政策で日独に相違が生じる背景を明らかにする必要性。



エネルギー政策の「**普遍性**」と
日独の「**地域性**」を包括的に評価

政策過程

- ・言説
- ・態度
- ・関係性
- ・評価



Media Prism

- ・マスメディア
- ・政府・国会
(会議録等)
- ・Web・SNS

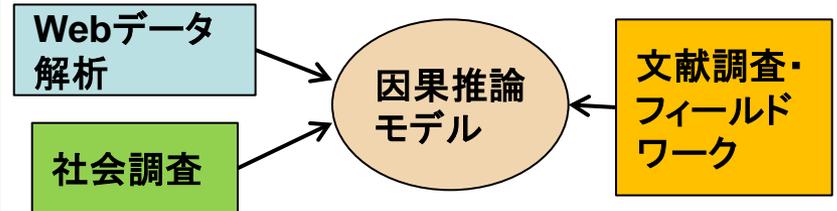


研究成果

- ・テキストマイニング
- ・内容分析
- ・社会調査
- ・ネットワーク分析

<研究計画の特徴>

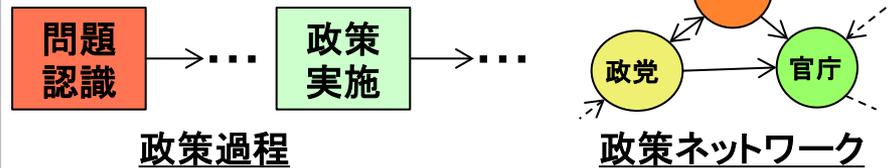
理工系、人文系、社会科学系の各分野から3つのアプローチで分析を行い、得られた知見を因果推論モデルとして統合。



⇒政策過程の評価

<目標とする研究成果>

(1) 日独の政策過程の違いを解明する。
共通のモデルにより、政策過程とアクター間のネットワーク(関係性)を描き出す。



(2) 日独のエネルギー政策を取り巻く言説を記述する。

国際的な影響の共通性を踏まえた上で、エネルギーに対する理解や価値観の相違を測る。